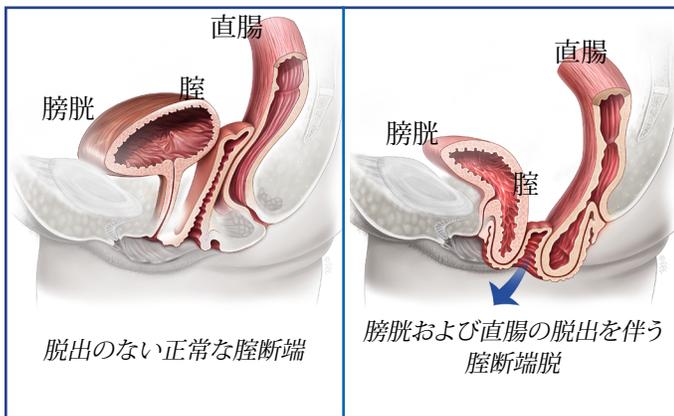


仙棘韧带固定術／腸骨尾骨筋挙上術

女性のためのガイド

1. 仙棘韧带固定術とは何ですか？
2. 手術前にどのようなことが行われますか？
3. 手術後にどのようなことが行われますか？
4. 手術の成功率はどのくらいですか？
5. 手術の合併症はありますか？
6. 手術後どのくらいで日常生活に戻れますか？

膣や子宮の脱出はよくみられる疾患で、約11%の女性で一生の間に手術が必要になるといわれています。脱出はしばしば子宮や膣を支持する組織が損傷を受けた結果生じます。



脱出に関する症状には膣内の膨隆または充満感、あるいは膣外への膨隆などがあります。脱出は膣内や腰部の重い感じや引っ張られるような感じ、排尿や排便困難の原因となります。また人によっては性交時の障害や不快感を生じることもあります。

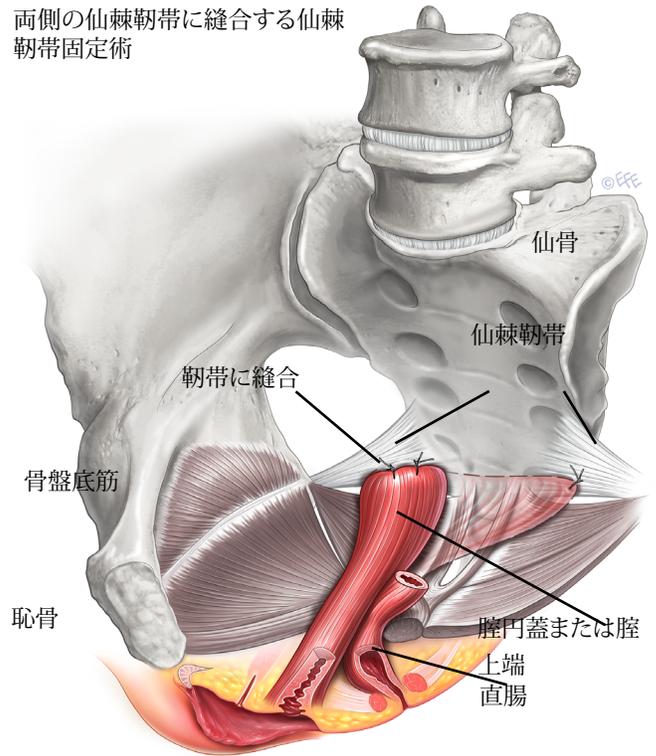
仙棘韧带固定術とは何ですか？

仙棘韧带固定術は子宮、または子宮摘出術を受けた女性では膣の支持を回復させるために考案された術式です。膣の切開創を通して骨盤内の強靱な韧带（仙棘韧带）に糸をかけ、この糸を子宮頸部や膣に縫いつけます。縫合する糸は永久に溶けないもの（非吸収糸）か、時間の経過とともにゆっくり吸収されるものを用いますが、最終的には縫合部位は癒痕組織に置き換わり、この組織が膣または子宮を支えることとなります。この術式ではしばしば膣式子宮全摘術を同時に行うことがあります。また膀胱や直腸の脱出手術や腹圧性尿失禁の手術を同時に行うこともあります。

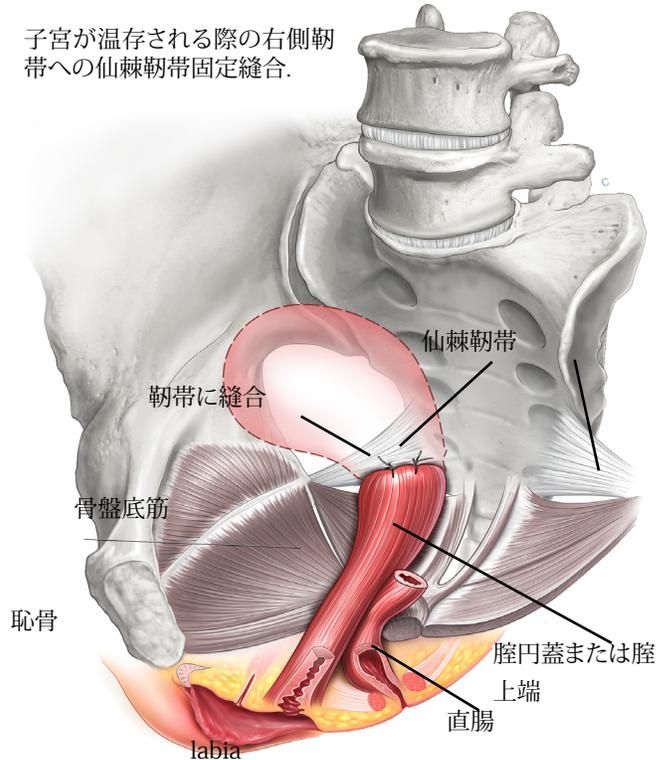
手術前にどのようなことが行われますか？

全般的な健康状態と服用中の薬剤について問診されます。血液検査や心電図、胸部X線撮影といった手術に必要な検査が行われます。入院や病院での生活、手術、術前術後のケア

両側の仙棘韧带に縫合する仙棘韧带固定術



子宮が温存される際の右側韧带への仙棘韧带固定縫合。



についての説明を受けます。

手術後にどのようなことが行われますか？

術後麻酔が覚めると、水分補給のための点滴がされており、膀胱に尿道カテーテルが挿入されていることもあります。組織中への出血を減少させるために膣内にガーゼを詰めることも行われます。ガーゼの充填と尿道カテーテルは通常術後24～40時間で抜去されます。

通常、術後4～6日間クリーム状の帯下（おりもの）があります。これは膣内に縫合糸が残っているためです。縫合糸が吸収されるにつれて帯下は徐々に減少します。帯下に嫌な臭い

があれば医師に相談してください。血液を多少含む帯下が手術直後あるいは術後約1週間目からみられることがあります。この血液は通常とても薄く、古い血液の色で茶褐色がかっています。皮下に溜まっていた血液が溶け出したものです。

手術の成功率はどのくらいですか？

仙棘靭帯固定術と腸骨尾骨筋挙上術の成功率は80～90%といわれています。しかし将来脱出が再発する可能性はあります。また腔の他の部位が脱出してきて追加の手術が必要になることもあります。

手術の合併症はありますか？

どんな手術にも合併症のリスクがありますので、下記のような一般的な合併症が生じる可能性があります：

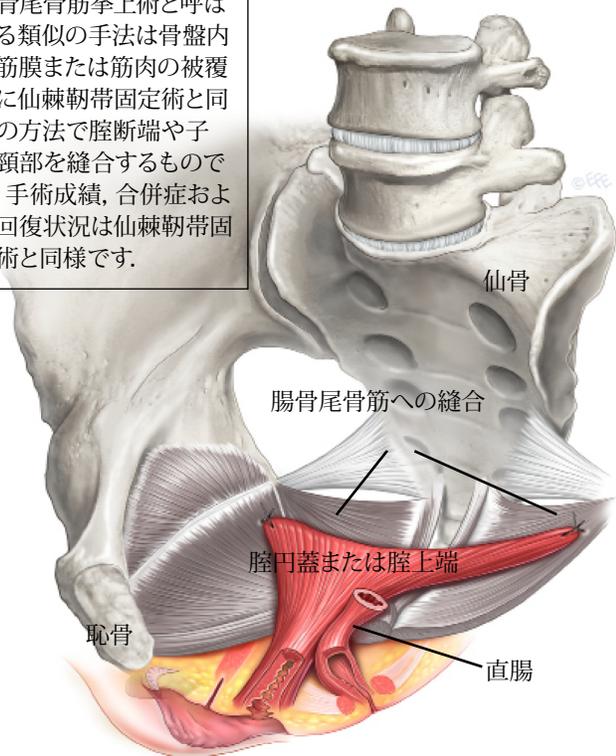
麻酔の問題について。最近の麻酔薬と監視装置を用いれば、麻酔による合併症は極めて稀です。手術は腰椎麻酔か全身麻酔を用いて行われます。麻酔医よりあなたに最も適した麻酔法について説明があります。

出血。腔式手術では輸血を必要とするような大量出血は稀です。

術後の感染について。多くの場合手術の直前に抗生剤を投与し、また無菌的に手術を行うよう努めますが、腔内または

腸骨尾骨筋挙上術

腸骨尾骨筋挙上術と呼ばれる類似の手法は骨盤内の筋膜または筋肉の被覆膜に仙棘靭帯固定術と同様の方法で腔断端や子宮頸部を縫合するものです。手術成績、合併症および回復状況は仙棘靭帯固定術と同様です。



の最初の数週間に臀部に痛みがあります。これは自然によくなりますが、疼痛を緩和する鎮痛薬が処方されます。直腸の刺すようなまたは焼けるような傷みもよく起こりますが、短期間で治まります。

- 便秘は手術直後によく起こる問題で、主治医は緩下剤を処方することもあります。繊維質の多い食事や十分な水分を摂取するようにしてください。
- 性交時に疼痛や不快感を生じることもあります。これを予防するために様々な努力が払われますが、時には避けられないこともあります。また脱出の修復後に性交がより快適になる女性もいます。

手術後どのくらいで日常生活に戻れますか？

術後1カ月で自動車の運転や軽い散歩のような軽度の日常動作はできるようになります。重いものを持つ、または激しい運動（スポーツなど）をすることは、創部が治ってくるまでの少なくとも6週間は避けてください。4～6週間は就労しないよう予定を立てることが通常は望まれます。主治医が仕事の種類や手術の状況にあわせて就労の時期を指導します。術後6週間は性生活を控えてください。術後は性交時に補助的に潤滑剤を用いることが役立つ方もいます。潤滑剤はスーパーマーケットや薬局で購入できます。（日本ではスーパーマーケットでは購入できません。）

もっと詳しく知りたい方は「骨盤臓器脱と腹圧性尿失禁」という小冊子をご覧ください。

骨盤内に感染が生じる可能性が少しあります。症状は嫌な臭いの腔分泌物（帯下）、発熱、骨盤内の痛み、または腹部の不快感などです。具合が悪くなったら医師に相談してください。

膀胱内感染（膀胱炎）手術後約6%の女性に生じ、尿道カテーテルが挿入されていればもっと起こりやすくなります。症状は排尿時の灼熱感や刺激痛、頻尿と時に血尿などです。膀胱炎は通常抗生剤による治療で容易に改善します。

以下は仙棘靭帯固定術／腸骨尾骨筋挙上術と比較的強い関連性のある合併症です：

- 仙棘靭帯固定術を受けた女性の約10人に1人は術後

この小冊子に記載されている情報は教育目的にのみ使用されることを意図しています。医師や医療従事者によって行われる特定の病状の診断または治療に使用されるものではありません。

Translated by: The Japanese Society of Female Pelvic Floor Medicine (JFPFM)

IUGA 
international urogynecological association